

校長通信

災害

令和6年1月1日、能登半島で大きな地震が発生しました。地震による家屋倒壊、火災、津波による被害等で、命をなくされた方のご冥福をお祈りしたいと思います。

また、被災された方々、現在も避難所で生活されている方々に心よりお見舞い申し上げます。

皆さんはまだ生まれていませんが、29年前の1月17日に阪神大震災が発生し、多くの方の命がなくなりました。

阪神大震災の概要です。

『阪神・淡路大震災 1995年1月17日午前5時46分に起きた、兵庫県淡路島北部を震源とするマグニチュード(M)7.3の都市直下型地震。国内史上初の震度7を観測し、同県を中心に死者6434人、行方不明者3人、負傷者4万3792人、住宅約64万棟の被害が出た。建物の倒壊による圧迫死が8割超を占め、国や自治体は建物の耐震化を進めた。』

29年前も災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられ、自然に対する人の力の限界を痛感させられました。今回の災害においても、メディアから流れる被災地の状況を見ると、阪神大震災や東日本大震災では想像できなかった、想定外のような困難や不便さが浮き彫りになっています。

皆さんはどう感じましたか。能登で生活している中学生の中には、まだ新学期がスタートしていない人がたくさんいます。集団での避難も計画されています。受験を控えている3年生にとっては本当に不安な日々が続いています。

奈良にいる私たちにできることは何でしょう。私は自分の行動に責任を持ち、能登の方々に迷惑がからない生活を送ることが、最低限しなければならないことだと思います。

また、防災意識を高め、もし災害にあった時にどのような行動をするべきかを考えておく必要があります。

皆さん、苦しんでいる人、弱っている人の気持ちに寄り添いしっかりと生活していきましょう。

生徒会が震災支援を目的とした、募金活動を予定してくれています。皆さんのご協力をお願いします。

～保護者の皆様～

生徒にも話をしましたが、落ち着いてしっかりとした教育活動を進めていくことが支援につながると考えています。

3学期は年度の締めくくりの学期となり、次のステップへの貴重な時間になります。生徒はまた成長してくれると期待しています。今年もご支援の程よろしく願いいたします。